

きらぼしセミナー便り 新入社員セミナー編



きらぼしコンサルティングでは、今年も4月2日、3日の2日間にわたって新入社員セミナーを開催いたしました。昨今の新入社員事情とともに弊社の新入社員セミナーへの取組みについてご紹介させていただきます。

近

年の新卒採用は売り手市場が続いており、大卒の求人倍率が1.88倍と7年連続で上昇しているようで、会員様でも採用が大変という声が多く聞かれました。また、昨今の新入社員は、「新入社員」新社会人」ではありません。今年の受講者をみても約4分の1の方は既に社会人経験のある方たちでした。社会人経験10年目の方がいたり、会社を一度やめ、学び直しや趣味を極めて再就職する方など、働き方やキャリアの積み上げが多様化していると感じます。

さ

て、2日間にわたる弊社の新入社員セミナーですが、1日目のテーマは「社会人の心構え」です。5、6人のグループになって、「社会人になること」「仕事のすすめ方」「ビジネスコミュニケーション」といった議題について、初対面同士、年齢も様々な受講生が意見を出し合い、グループ内で意見をまとめて発表してもらいました。

また、ゲーム性のあるワークなどもあり、ちょっと楽しみながら学んでも頂きました。2日目のテーマは「ビジネスマナー」です。講師の岩下宣子先生は、弊社の新入社員セミナー講師を10年以上にわたって務めて頂いています。先生は毎年、新渡戸稲造の言葉を引用し、体裁だけのマナー（礼儀）ほど浅ましいものはない、心を込めてマナーを実践するように、と言い続けています。その岩下先生の立ち姿、振る舞いがとても凛とされているだけに、先生の一つ一つの言葉に説得力があります。

せ

セミナー開講時は、どうしても受講生の表情が固くなっています。グループで意見交換をしたり、お昼と一緒に食べたりする中で徐々にリラックスして笑顔がこぼれてきます。そうになると、積極性がでて先生へ質問する人が多くなり、休憩時間中に先生へ質問に行く人もいます。また、みんなの前で披露する模擬電話は恥ずかしくて躊躇するのですが、やってみたいと手を挙げる人が何人もいました。受講者の方達は、スポンジそのものの、吸収したい意欲が半端ではなく、教わりたいという真



剣な眼差しがあります。そう間近に感じるだけに「いい水」を提供しなければ、と強く思います。受講生が配属後、明るく前向きに業務に取組み、将来は会社を中心となって活躍してほしい、と親心のような気持ちにもなります。

最

後に、新入社員セミナーに関わるものとして衝撃的だった、4月1日付のある新聞の社説をご紹介します。就活中の大学生の実に71%が「将来的に転職もあり」と答えており、「転職しない」は6%のみというのです。約25年前に就職した私にとって隔世の感を感じずにいられませんが、企業にとって採用も大変ですが、「人材育成・定着」はもっと大きな課題であり、真剣に向き合う必要があるのでしょうか。弊社では、会員企業様に対し「採用した若い人達の能力を引き出し、仕事にやりがいを持たせ、会社のかげがえのない人材になってほしい。」そう考え、「育つ側と育てる側」双方のセミナーを開催しています。会員企業の社員様がスキルアップすることで仕事のやりがいを見出し、会員企業様の「人材育成・定着」に貢献したい。そう強く思う新入社員セミナーでもありました。(文・猪又秀亮)